

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年11月16日（金）

2 確認箇所

- ・ H5タンクエリア
- ・ 入退域管理棟北側
- ・ 救急医療室（ER）

3 確認項目

- （1） H5タンクエリア設置工事における作業員の負傷
- （2） EVバスの状況
- （3） 救急医療室の状況

4 確認結果の概要

第2回労働者安全衛生対策部会立入調査に同行し、以下3点の状況について確認した。

（1） H5タンクエリア設置工事における作業員の負傷について

平成30年10月2日にH5タンクエリアにおいて風防足場での作業時に発生した作業員の負傷事故について説明があった。

- ・ 風防足場は、上部及び下部に車輪があり、上部の車輪はタンクの雨樋をレールとし、下部の車輪はタンク側板を這わせて動く構造となっている。
- ・ 事故発生時は2人1組で、足場に乘った人がタンク上部での非破壊検査、タンク下部にいる共同作業者が足場の移動等の役割分担で作業を実施していた。
- ・ 今回の事故は、風防足場の移動中に突風が吹き、風防足場が進行方向とは逆に動いたため、上にいた作業員がバランスを崩し、タンク上部に設置してあるレールに手をかけ、風で動く風防足場の車輪とレールの間で右手小指が挟まれてしまったとのことである。（写真1）
- ・ 再発防止策として風防足場に人がいる状態では足場を移動しない運用にすることや車輪部に手指が入らないようにカバーを取り付ける。



(写真1)

風防足場の上部には車輪がついており、レールに沿ってタンクの周囲を移動できる構造になっている。

(注：本タンクは説明に用いられたタンクで、事故が発生したタンクとは異なる。)

(2) EVバスの状況について

EVバスの状況について説明があり、安全に配慮していることを確認した。(写真2)



(写真2)

(3) 救急医療室 (ER) の状況について

- 救急医療室の状況について説明があり、現場確認を行った。
- ・救急医療室には24時間体制で医師、救命士、看護師、事務員が待機をしている。
 - ・救急医療室においては負傷や熱中症、心筋梗塞等の対応が可能。
 - ・現場にはレントゲン、診察台、AED等が配備されていた。(写真3)



(写真3-1) 診療台等



(写真3-2) AED



(写真3-3)
レントゲン室

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。